

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表
《省令で定める単位数等の基準数相当分》

医療専門課程 作業療法学科

科目名	単位数
臨床総合実習	17

実務経験教員による科目の確認表

- ・様式第2号の1～②に計上した学科の順に表を作成してください。
- ・当該確認表により、実務経験のある教員等による授業科目を確認します。省令で定める基準単位数又は授業時数と同数以上の科目を選び記載ください。
- ・「実務経験のある教員等による授業科目の一覧表《省令で定める単位数等の基準数相当分》」及び「実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書（シラバス）《省令で定める単位数等の基準数相当分》」と計上する科目等を一致させてください。

学科名／昼夜	作業療法学科		屋	備考
	科目名	単位数又は 授業時数	担当教員名	
	臨床総合実習	17	金谷優志	作業療法士 2008.4～2015.3
	学科計	17		

担当教員等の実務経験の有無を明示した教育課程表

教育課程表 作業療法学科

分野	教育内容	単位数	内 訳				配属年次 及び時間数					
			科 目 名	実務経験の有無	講義	実習	1	2	3	4		
基礎分野	科学的思考の基盤 人間と生活、社会の理解	20	心理学	○	2		60					
			情報コミュニケーション学Ⅰ	○	1		30					
			情報コミュニケーション学Ⅱ	○	1		30					
			情報コミュニケーション学Ⅲ	○	1		15					
			基礎数理	○	2		30					
			健康と身体	○		1	30					
			社会福祉概論	○	1		30					
			医学用語	○	1		30					
			人間発達学	○	1			30				
			公衆衛生学	○	1		15					
			総合演習Ⅰ	○	1		30					
			総合演習Ⅱ	○	1			30				
			総合演習Ⅲ	○	1				30			
			総合演習Ⅳ	○	5					175		
専門基礎分野	人体の構造と機能 及び心身の発達	13	人体の構造Ⅰ	○	1		30					
			人体の構造Ⅱ	○	1		30					
			人体の構造Ⅲ	○	1		30					
			人体の構造Ⅳ	○	1		30					
			人体の構造実習	○		1		30				
			人体の機能Ⅰ	○	1		30					
			人体の機能Ⅱ	○	1		30					
			人体の機能実習	○		1		30				
			運動学Ⅰ	○	1		30					
			運動学Ⅱ	○	1			30				
			運動学Ⅲ	○	1			30				
			運動学実習	○		1		30				
			運動生理学	○	1		15					
	疾病と障害の成り立ち 及び回復過程の促進	16	リハビリテーション医学Ⅰ	○	2		30					
			リハビリテーション医学Ⅱ	○	1			15				
			リハビリテーション医学Ⅲ	○	2				30			
			内科学	○	2			60				
			運動器病態学	○	2			60				
			臨床神経学	○	2			60				
			精神医学	○	2			60				
			臨床心理学	○	1			30				
			病理学	○	1		15					
			救急救命法	○		1	30					
			保健医療福祉と リハビリテーションの理念	4	リハビリテーション概論Ⅰ	○	2		60			
			リハビリテーション概論Ⅱ	○	2			60				
			基礎作業療法	7	作業療法概論	○	2		60			
					基礎作業学	○		2	60			
					作業分析	○	2				60	
					作業療法研究法	○	1			15		
					作業療法管理学	2	作業療法管理学	○	2			
作業療法評価学Ⅰ	○	1							30			
作業療法評価学Ⅱ	○	1					30					
作業療法評価学Ⅲ	○	1					30					
作業療法評価学Ⅳ	○	1					15					
作業療法評価学実習Ⅰ	○				1		30					
作業療法評価学実習Ⅱ	○				1		30					
作業療法評価学実習Ⅲ	○				1		30					
作業療法治療学	21	発達領域作業療法Ⅰ			○	1			20			
		発達領域作業療法Ⅱ	○	2				40				
		整形外科作業療法	○	3				60				
		精神疾患作業療法	○	3				60				
		老年期疾患作業療法	○	3				60				
		中枢神経疾患作業療法	○	3				60				
		日常生活関連活動学	○	3		60						
		作業療法技術論	○		1			30				
		義肢装具学	○	2				30				
		地域リハビリテーション	○	1		15						
		生活支援環境学	○	1			15					
		職業リハビリテーション	○	1					30			
		地域作業療法	○	2								
臨床実習	28	見学実習	○		1	45						
		地域リハビリテーション実習	○		1		45					
		臨床評価実習	○		9			360				
		臨床総合実習	○		17				680			
		その他	6	地域リハビリテーション実習演習	○	1			15			
臨床評価実習演習Ⅰ	○	1					30					
臨床評価実習演習Ⅱ	○	1					30					
臨床総合実習演習	○	1						30				
卒業研究(選択科目)	○	2						*60				
合 計	129					855	905	955	885			
							3600					

*卒業研究(選択科目)以外は全て必修科目

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書 (シラバス)

《省令で定める単位数等の基準数相当分》

OT4年 前期		講義概要	一般目標
専門分野		臨床現場において、実習指導者の指導のもとに個別に学習を行う。 臨床実習:320時間×2=640時間 OSCE他:1.5時間×27コマ=40.5時間	臨床実習指導者の指導・監督のもとで典型的な障害特性を呈する患者に対して作業療法士としての ①倫理観や基本的態度を身につける ②許容される臨床技能を実践できる ③臨床実習指導者の作業療法の思考過程を説明し、作業療法の計画立案ができること
臨床総合実習			
17単位	680時間		
作業療法学科:金谷優志			
回	項目	この講義で学ぶこと・行動目標	
	臨床総合実習Ⅰ(臨床実習)	臨床総合実習Ⅰ期 8週間 40時間×8=320時間	
	臨床総合実習Ⅱ(臨床実習)	臨床総合実習Ⅱ期 8週間 40時間×8=320時間	
1	実習課題確認等①	臨床総合実習Ⅰ 実習課題点検、実習地お礼状作成	
2	実習課題確認等②	臨床総合実習Ⅰ 実習課題点検、実習地お礼状作成	
3	実習課題確認等③	臨床総合実習Ⅱ 実習課題点検、実習地お礼状作成	
4	実習課題確認等④	臨床総合実習Ⅱ 実習課題点検、実習地お礼状作成	
5	実習前課題確認	臨床総合実習Ⅱ 実習前オリエンテーション	
6	実習後教員面談① 総合実習Ⅰ	実習の振り返りを教員と行う	
7	実習後教員面談① 総合実習Ⅰ	実習の振り返りを教員と行う	
8	実習報告会資料作成①	実習体験報告会資料(PPT、MTDLP)作成(教員指導を受けつつ)	
9	実習報告会資料作成②	実習体験報告会資料(PPT、MTDLP)作成(教員指導を受けつつ)	
10	実習報告会資料作成③	実習体験報告会資料(PPT、MTDLP)作成(教員指導を受けつつ)	
11	実習報告会資料作成④	実習体験報告会資料(PPT、MTDLP)作成(教員指導を受けつつ)	
12	実習報告会資料作成⑤	実習体験報告会資料(PPT、MTDLP)作成(教員指導を受けつつ)	
13	実習報告会資料作成⑤	実習体験報告会資料(PPT、MTDLP)作成(教員指導を受けつつ)	
教科書・参考書・資料			
判定基準/割合		履修上の留意点	
平常点:100点 出席(日数の3/4以上)、基本的態度 提出物内容・実習進行状況 実習要項等による総合判定			